

令和4年度 長崎県立口加高等学校 学校関係者評価 報告

1 評価の実施期日・場所

- 第1回 令和4年7月11日（月） 本校会議室
 第2回 令和5年2月21日（火） 本校校長室

2 学校関係者評価委員

- | | | | |
|-------|-------|---------------|----|
| 和田 忠 | 学校評議員 | 7 / 11・2 / 21 | 出席 |
| 大野 豊 | 学校評議員 | 7 / 11・2 / 21 | 出席 |
| 林田 昭義 | 学校評議員 | 7 / 11 | 出席 |
| 高木里佳子 | 学校評議員 | 7 / 11・2 / 21 | 出席 |

3 学校関係者評価の内容

学校評議員への 諮問内容	1 令和4年度学校経営方針・努力目標等について 2 学校概要・現況報告 3 学校評価について 4 スクール・ミッション、スクール・ポリシーについて
学校評議員からの 意見・助言等	①少子化の中で、私立高校との競合など生徒募集が難しくなってきた。口加高校が生き残っていくためにどのような方向に進んでいくべきか。地元の高校として、口加高校の地域性を活かしてほしい。 ②志願者を増やすには進路実績が求められ、それが高校の信頼につながる。現在、どのような状況か。また、福祉科はどのようにして生徒を地元に残すのか。 ③生徒数を増やすために小学生もターゲットにすべきではないか。 ④高総体も結果が出た。先生方も各方面で頑張っている。そういう高校に中学生が集まらないのはなぜか？広報活動が重要であるが、PRの方法を変えていく必要があるのではないか。新しいアイデアが必要なのではないか。 ⑤南島原市が抱える問題は高校が抱える問題とリンクしている。総合的な探究の時間での南島原市との取り組みを積極的に行ってほしい。 ⑥交通事故が多いというが、指導はなされているのか。 ⑦1人1台端末で生徒達はきちんと学習が来ているのか。また、遠隔授業は実施することができるのか。 ⑧スクール・ミッション、スクール・ポリシーについての意見 ○スクール・ポリシーについて <ul style="list-style-type: none"> ・中学生にも分かる文言が必要である。 ・文章が長すぎると分かりにくい。 ・各コース等のポイントは何なのかを明確にした方が良い。 ・自分の強みを生かして人や社会の役に立てる生徒や世界や地域で活躍できる人材の育成をお願いしたい。 ・「他人を喜ばせることができる生徒」とはどのような生徒なのか。

対 応 等
(数字は上記の意見・助言等に対応)

- ① 5月の5会場を皮切りに学校説明会やオープンスクール、福祉体験活動などを行い口加の魅力を発信してきた。また、天草においても学校説明会の案内を行った。来年度はこれらに加え、県北地区での福祉科の説明や授業公開を積極的に行い、魅力を伝えていきたい。
- ② 生徒一人ひとりが自ら希望する進路を実現している。その中で今年度は学校推薦型等の入試で、昨年よりもかなり結果が出ている。3月に入試結果が発表される国公立大でも多くの生徒が合格を勝ち取ってくれると考えている。進路実績もアピールしていきたい。また、福祉科については、全員が介護職に就かなければならないということではなく多様な進路先が考えられることを説明してきた。大学や専門学校に進学し、新たな国家資格を取得し、将来、地元で活躍してくれると考えている。
- ③ 小学生から長期的に魅力を伝える必要があると考える。特に福祉科については早い段階からの意識の醸成が効果的である。昨年度は福祉体験教室を実施し、小学生も参加してくれた。このような取り組みを積極的に行っていきたい。120周年記念式典案内のポスターを近隣小学校にも配付したが、今後は小学校にも出向き、口加高校の魅力を伝えていきたい。
- ④ 今年度、学校評議員の方の御協力により、「口加だより」を南有馬、加津佐、口之津地区700班の回覧板への掲載、南島原市の広報誌に菖蒲祭（文化祭）のお知らせや口加高校の紹介を掲載させていただいた。南島原市に積極的に働きかけをしていきたい。また従来のやり方だけではなく、もっと発想の転換や知恵を絞り、工夫をしていきたい。
- ⑤ 今年度、1年生の普通科普通コースと福祉科の総合的な探究の時間において南島原市役所の職員の方に御協力いただき、ふるさと教育を進めてきた。生徒たちは地域の実態を理解し、今後どのようにあるべきかを考えるきっかけとなった。今年度の取り組みを検証し、さらに地域の問題解決を探り、高校生の発想で提言を行いたいと考えている。
- ⑥ 1人1台端末は授業等で活用している。創立120周年記念事業で全館Wi-Fiにさせていただいたので、ますます利用頻度が増えると考えている。ただ、家庭における使用については、各家庭でのWi-Fiの問題がある。遠隔授業については、実施しているが文科省が法律上、受信者側に教員がいなければ出席にならないとしている。
- ⑦ 交通関係の指導は年度当初から随時行っている。また、口加高校近辺での保護者の送迎は禁止であることも伝えているが完全にはなくなっていない状態である。
- ⑧ スクール・ミッションにおける「他人を喜ばせることができる生徒」とは、利他的な生徒、他人の幸福や利益のために尽くすことができる生徒である。各コース等の特徴を明確にし、中学生にも分かりやすい文章になるように検討したい。